



知識・理解

人体の構造と機能を理解し、臨床医学に関する基礎的な知識を身につけている。また、保健医療福祉の仕組みを理解したうえで、リハビリテーションにおける理学療法士の役割及び理学療法を遂行するために必要な評価と治療の手段を理解し応用できる。

思考・判断

具体的な疾病や障害に対する適切な理学療法評価法を選択できる。また、それらの評価結果を総合的に解釈したうえで、対象者の問題点を抽出できる。さらに、それらの問題点を解決するための理学療法プログラムを提案できる。

関心・意欲

医療の担い手としての高い倫理観と、様々な人生観、価値観を尊重できる豊かな人間性を身につけている。そして、理学療法を通して、地域、社会に貢献すべく、人々の健康を支援するための責任ある行動を取ることができる。

態度

医学の進歩や社会情勢の変化を見据えたうえで、体系的・客観的思考をもって自ら専門性を高め、理学療法の発展に寄与することができる。

技能・表現

学生を対象に、代表的な理学療法評価法を正確に実施できるとともに、基本的な理学療法技術を模倣できる。演習を通して身につけた技術を、臨床実習の場で具体的な疾患や障害を持つ人に応用できる。

卒業までに
修得すべき要件

臨床実習

